PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

07-303163

(43)Date of publication of application: 14.11.1995

(51)Int.CI.

HO4N 1/00 HO4N 1/00 GO3G 15/22

GO3G 21/00 HO4N 1/04

(21)Application number: 06-096312

(71)Applicant: FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing:

15 1004 (72)Inven

(72)Inventor: ONO MASASHI

10,03,1334

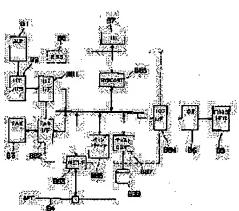
IWATA MASAHIRO

(54) IMAGE PROCESSOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To relieve the operation load of the operator by implementing all operations in the unit of jobs in the image processor so as to eliminate the need for changeover of the operation mode thereby confirming the setting content of each job and revising it.

CONSTITUTION: An original is set to an automatic draft feeder B1 or an image reader B2, and after a job is set by a job operation designation device 7, the operation of the image processor is started. The reader B2 reads image information on the original by photoelectric conversion and converts the image into digital image data and the data are stored in a page buffer B86 via an interface B81 while implementing image processing. When an output is enable, the image information is directly from the buffer B86 to an output device B6 via an output interface 84 and a print paper processor B5 implements post processing and write to a disk B88 is started simultaneously. The image data from the reader B2 are directly outputted for a 1st copy and data read from the disk B88 are outputted for 2nd and succeeding copies.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

16,12,1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

13.12.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁(JP)

(18 公開特許公報(A)

(11) 特許出版公開番号

က 特開平7-30316

(43) 公開日 平成7年(1995) 11月14日

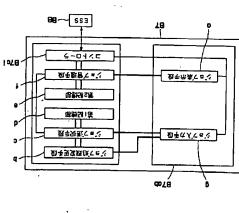
技術表示箇所 (全11月)	(71) 出版人 000005496 宮ナゼロックス株式会社	東京都港区赤坂三丁目3番5号 小野 以史 神奈川県布老名市本郷2274番地宮土ゼロッ	クス株式会社内 岩田 匡広 神奈川県衛老名市本郷2274番地宮土ゼロッ	大学大学社会 本本語 大学 大田士 小路 は
F1	(71) 出版人	(72) 発明者	(72) 発明者	(74) 代理人
離別記号 庁内格理番号 1/00 106 B E 15/22 103 D 21/00 384 1/44 107 B B A A A A A A A A A A A A A A A A A	特 類平6-96312	平底6年 (1994) 5月 10日	·	
(5) Int. Cl. • H04N V G03G 15, H04N V	(21) 出顯番号	(22) til tag (3		

(54) 【発明の名称】画像処理装置

(57) [聚松]

操作モードにとらわれずジョブ単位に操作を り、容易にジョブ内容の確認及び変更操作を可能とする 可能とし、全てのジョブ内管を一括表示することによ 表示及び入力装置を備えた画像処理装置を提供するこ

【構成】 画像データを入力するための入力手段と、入 力された画像データを記憶するための記憶手段と、画像 データを出力するための出力手段と、上記手段を各々独 立に処理しながら複数のジョブを制御するための制御手 段とを悩えた画像処理装置において、実行中及び実行特 ちをしているジョブを表示するジョブ表示手段aと、ジ プを選択するジョブ選択手段でと、ジョブ選択手段でに おいて選択されたジョブに対して処理条件の変更を行う ジョブ処理変更手段もとを備え、任意のジョブに対して 設定変更・処理変更・中断・再開をジョブ単位で行うよ ョブ投示手段 a に表示されているジョブから任意のジョ うに慰問する。



「甜求項1] 画像データを入力するための少なくとも **5ための記憶手段と、画像データを出力するための少な** くとも1つ以上の出力手段と、上記手段を各々独立に処 理しながら複数のジョブを制御するための制御手段とを つ以上の入力手段と、入力された画像データを記憶す 備えた画像処理装置において、

- a)災行中及び災行待ちをしているジョブを投示するジ ョブ表示手段と、
- b)上記ジョブ表示手段に表示されているジョブから任 食のジョブを選択するジョブ選択手段と、

[0000]

2

- c)上記ジョブ選択手段において選択されたジョブに対 d) 各ジョブの実行状態を管理するジョブ管理手段とを して処理条件の変更を行うジョブ処理変更手段と、
 - 備え、任意のジョブに対して設定変更・処理変更をジョ **プ単位でするように制御してなる画像処理装置。**
 - [発明の詳細な説明] [0000]
- **ァクシミリを複合した画像処理装置に関し、特に独立し** 【産業上の利用分野】本発明は、複写機、プリンタ、フ て処理される複数の稼働中ジョブに対して、指定もしく は操作を行ない、各々のジョブを制御するための操作手 段を備えた画像処理装置に関する。
- ファクシミリ装留等、デジタル画像データを取り扱う画 像処理装置を統合した、いわゆる複合機が普及されつつ ある。このような複合機は、各々を単体で所有する場合 に比べて、被留の省スペース化、コストの低減等大きな 【従来の技術】近年、デジタル複写機、プリンタ装配、 [0002]
- [0003] 一方、複合機では、複数の異なる操作が必 要になるため、操作が煩雑であったり、出力結果が混在 してしまうといった、複合化に伴う新たな不具合が生じ メリットを有している。
- **表示部を切り扱えることによって操作性を向上させた画** 【0004】この不具合を解消するため、特別昭63-279269号公報では、複合した各モード毎に操作/ 象処理装置が提案されている。 てきている。
- **索されているような、複合化に伴い複数のジョブを並列** [0005] また、特開昭60-81958号公報で提 に処理させることが可能な複合機においては、従来のよ うに装置全体の挙動は単純ではなく複雑な挙動を示すた め、オペレータに按钮の挙動が分かりにくいといった回 **┛が生じる。そのため、特開平1-196959号公報** にあるように、ジョブ設定部とは別に入力/出力用の投 示部を設けることにより、装配の挙動をオペレータに知 らせるようにしている。
- [0006] ところで、上記のように複数のジョブを並 列に処理できる画像処理技器においては、画像のプリン ト、ファクシミリ及びネットの出力動作中に、スキャ

20

特国平7-303163

8

ナ、ファクシミリ及びネットの入力助作により画像情報 は前記ジョブ情報に従って処理動作を行う。待ち行列中 及び処理中の任意のジョンに対して設定変更・処理変更 が説み込まれ、画像情報制位部に蓄和することにより各 出力動作の待ち行列が発生する。これら搭積された画像 **情報は、各々の画像情報に対して数定された処理内容で** あるジョブ恰観と共にファイルとして記憶され、出力時 のジョブ変更操作を行う場合、操作/投示部をジョブ変 更操作を所釦の操作モードに変更し、ジョブ変更操作を [発明が解決しようとす? 眼脳] しかしながら、上記の 行う場合、もしくはジョンの確認操作を行う場合、所配 きないため、常に操作モードを意識して操作しなければ たジョブを確認しなければならなかった。さらに、1つ た場合、各々の操作モートに変更して同じファイルのジ ョブ情報に対して操作する必要が生じるため、操作が非 ように任意のジョブに対して設定変更・処理変更操作を の操作モードに操作/表示:節を切り換えなければ操作で のファイルを複数の処理、例えばプリント出力とファク シミリのような処理を行い、 それぞれに処理変更が生じ ならず、操作モードを変更し各々の操作モードで登録し 常に煩雑且つ効率が悪くなる欠点があつた。 20

- ドにとらわれずジョブ単位に操作を可能とし、全てのジ ョブ内容を一括表示することにより、容易にジョブ内容 の確認及び変更操作を可信とする表示及び入力装配を備 【0008】本発明は、5.上の問題点に鑑み、操作モー えた画像処理装置を提供することを目的とする。
- と、画像データを出力するための少なくとも1つ以上の 出力手段と、上記手段を各々独立に処理しながら複数の 聞において、攻行中及び攻庁待ちをしているジョブを改 れているジョブから任意のジョブを選択するジョブ選択 手段と、上記ジョブ選択手段において選択されたジョブ データを入力するための少なくとも1つ以上の入力手段 ジョブを制御するための制御手段とを備えた画像処理装 示するジョブ投示手段と、上記ジョブ投示手段に投示さ [標題を解決するための手段] そこで、本発明は、画像 と、入力された画像データを記憶するための記憶手段 [6000] 49 30
 - 単位でするように制御してなる画像処理装置を提供する え、任意のジョブに対して設定変更・処理変更をジョブ に対して処理条件の変更を行うジョブ処理変更手段と、 各ジョブの実行状態を管理するジョブ管理手段とを偏
- 【作用】以下に上記構成の崀盥の作用を説明する。

[0010]

- この複合機器に用いられる複合表示及び入力装置におけ る複数値の機器を一体化した複合機器を操作する場合、
- [0011] 複数のジョブを並列に制御することができ る操作/表示部に現在実行 中及び実行待ち行列に受け付

ල

特開平7-303163

りられたジョブ全てをジョブリストとして表示する。オペレータは、このジョブリストにより受け付けられたジョブについて確認ができる。さらに、各ジョブについての詳細付給が必要な場合や設定変更・処理変更などの操作が必要な場合、ジョブリストより所別のジョブを選択することにより経路及び操作を行うことができる。

(10012) このように、ジョブ単位に操作することによって、操作モードを変更する操作が必要ないので、実行中及び実行やち状態のジョブの確認及び操作を行う場

[0013]

合に成力を発抑する。

【火路倒】以下、図面を参照しながら火路倒を設明する。本実施例においては、画像形成装置として複合機を倒に挙げて説明する。

(0014)図1は、本発明が適用される複合機のシステム等成を示す報略図である。複合機11において認み 取られた画像データは内部で衝像処理された後、LAN14を通じて適大機器にいまれて、端末接割かられた画像データは複合機11において傷形成されて出りされる。並、複合機11内の圧縮/伸身処理により低熱の酸を通じてファクシミリ送受信が可能なシステム構成になっている。

20

(0015)図2は、本発明が適用される複合機の機略 構成を示す断面図である。複合機は、大きくわけて、原 路面像に対応したトナー像を記録紙上に形成してコピー を形成する複合機本体M1と、複合機本体M1の原数機 四面に対して原格を自動的に送り込む自動原稿送り装置 四元と、複合機本体M1から排出されたコピーに対して ソーティング、ステイブル止め等の段処理を行う後処理 接配M3と、LANや電話回路などのネットワーク回線 30 をの画像データの送受信を行う外部通信装配M3 8と、 保作者が数四に対して操作内容を指示する操作指示装置 M39から構成されている。

【0016】複合機本体M1の内部には、上側から、原 偽成型面であるプラテンガラスM4上に執照された原格 を走在して原始画像を認み込む画像数み取り装置M5 と、この画像数み取り装置M5により得られた画像情報 もしくはネットワーク上の過末装置からLAN#1によって送信された画像情報 もしくはネットワーク上の過末装置からLAN#1によって送信され が関係を形成する画像形成表置がある。この画像形成を オー像を形成する画像形成数置M6と、この画像形成数 開始のに対して記録紙を供給する結構装置M7とが配数

40

[0017] 上記自動原偽送り投密N2は、複合機本体10上版に設けられたブラテンガラスM4を開閉自作に 超うように設けられており、原偽機関トレイM8に冶機された原始が送りローラ(図示せず)及び破送ベルトMの関係の説み取りが行われ、その後、原質は酸送ベルトM9及び停出ローラ(図示せず)により原偽基をルトトM9及び停出ローラ(図示せず)により原偽排紙トレトM9及び停出ローラ(図示せず)により原偽排紙トレ

イM10に排出される。

(0018) 画像競み取り装配M 5は、光学ぶとして、 超光ランプM 11、複数の反射ミラーM 12、レンズM 13、イメージセンサM 14 等を超えており、銀光ラン プM 11、反射ミラーM 12 をブヴテンガラスM 4に治 つて移動させ、原路の画像の超級を相気的な画像信号に 収集する。この画像信号は、画像競み取り装配M 5のH 部に虹気派として設けられているA D 変換回路をによ 可は設立するの理解に供給され、所述の信号の国象デンタル形態の画像データに変換される。この画像データには がは後述するの理解に供給され、所述の信号処理を受け 方式シル形態の画像データに変換される。この画像デー 方は後述するの理解に供給され、所述の信号処理を受け 次数、画像形成装配M 6 b しくはネットワーク上の過次 装留または電話回線 # 2 により通信数据等に供給され 【のの19】画像形成技習M6は、処理部からのデジタル画像データに従って、周知の電子学真法により記録用紙上にトナー像を形成するものであり、帯電技器M15により均一に帯電された感光体ドラムM16の技面を、レーザー観光技器M17からのレーザー光により露光して静電器像を形成する。

【0020】 レーザー線光装団M 17は、画像説み現り 装団M 5からの画像データに基づいて駆動的流が窓間される半時体レーザー等のレーザー等子(図示せず)、レーザー業子が3のレーザー米を弱光体ドラムM 16の数面の移動方向と直交する方向に周期的に偏向する回転参画数M 18、反発ミラーM 19等から確成されている。

器M20あるいはM21により現像されて感光体ドラムM16上に所図色のトナー体が形成され、このトナー像に存実型M22により結准装置M7つ位数のトナー像のM22により結准を置いての数のトレイM24つのいずれから経路Aに沿って送られてきた記録紙に転写される。なお、トレイM74に対する人の記録紙をし時的に収納する中間トレイ、M76は数百枚の記録紙を見時に収納する中間トレイ、M76は数百枚の記録紙を見時する大きも中間トレイ、M76は数百枚の記録紙を見時する大きも中間トレイ、M76は数百枚の記録紙を収録する大きも間トレイ、M76は数16の光度が表えされる。係写後に第光体ドラムM16の没面解去される。

【0022】 転写後の記録瓶は、剥離装団M24により 感光体ドラムM16から剥磨され、コンペアM25で定 有装置M26に搬送され、定泊処理を受ける。定対後の 用紙の軽踏は、切り歳えゲートM27により、後処理接 四M3に進む経路Bと、両面複写のために反応接置M2 を介して中間トレM7dに進む軽路Cのいず扣がに 切り核えられる。両面複写の場合には反応接置M28で 配数人に対って可度面像に装置M6に接着的と8で 配数析の表現が反応され、中間トレイM7dを駐山上軽 配料におって可度面像に装置M6に供給され、今度は 記録紙の質面にトナー像が形成された後、後処理装置M 3に送られる。

【0023】画像形成装置M6から後処理装置M3に排

S

5 出された記録紙は、切り換えゲートM29により、経路 Dと経路区のいづれかに切り換えられる。経路Dに進ん だ記録紙はそのまま画像面を上にして経路下に送られ、 経路区に進んだ記録紙は反転装置M30で表現が反転さ

れて経路下に送られる。

[0024]経路下を進む記録権は、切り換えゲートM31により、頂部トイM32に向かう整路Cと、谷棚の後独団を受ける経路Hに疑りかけられる。程路Hに造んだ記録様は垂近搬送ペルトM35により経路1に治って下方に向かって搬送され、切り機えゲートが34によって下方に向かって搬送され、切り機えゲートの実践リンテの実実リンM35に向かう経路Kに扱り分けられる。経路1に進んだ記録紙が簡単ったら、ステイブラM37によりステイブルにかされる。なお、ジグネチ・田力の場合は記録紙の折り目となる中央部がスティブルにあされる。スティブルにめされる。スティブルにめされる。スティブルにめされる。スティブルにめされた。本M33により下方に向かって搬送され、ソータビンM35にかりがたの位置に排出される。

ットワークインタフェース (NET-1F) B83, 入 【0025】図3は、本発明に係わる画像処理装置の一 [0026] 図3において、画像処理部 (ESS:E1 ectronic Sub. System) B8は、オ であるジョブ動作指定装置B7、自動原稿送り装置 (A DF: Automatic Document Feed 2、出力装置(1 O T)B 6、及び印字用紙後処理装置 (FINISHER) B5が連結され、ジョブ動作に従 コマンド/ステータス信号及び画像入力信号を制御する 入力インタフェース(IIT-I/F)B81、コマン ンタフェース (IOT-I/F) B84、ファクシミリ (FAX) B3とのコマンド/ステータス信号及び画像 **信号を制御するファクシミリインタフェース(FAX-**I/F) B82、ネットワークに接続された外部機器と のコマンド/ステータス信号及び画像信号を制御するネ 力画像データを一時格飲させるためのページバッファB 86、及びディスクコントローラB87とディスクB8 8からなる大容量のデータ蓄積用メモリとしてのディス ドノステータス信号及び画像出力信号を制御する出力イ ペレーションパネル等のユーザインタフェース (UI) T:System Controller) B85&, er) B1、画像説み取り装譜 (IIT/IPS) B って恒御するためのシステム创御部(SYS. CON **実施例を示すハードウェアブロック図である。**

クコントローラユニットから構成される。
(0027]まず、画像数み取り装配B2からの入力、
出力装配B6への出力の場合について説明する。自動配 経営り装置B1もしくは画像説み取り装置B2のプラテン上に原稿をセットし、ジョブ動作指定装配B7によっ アンニブ助作を設定した後スタートボタンを用下する。
と、画像説み収り装配B2は、光電変換により原数の画

特爾平7-303163

3

ータを出力する。出力インタフェースB84へ出力され た画像データは、出力装IIB6において画像データから 生成された 2 値データに辿づきレーザ光のオン/オフを てページバッファB86:瓜次格納される。その際、出 力可能な状態であれば、ページパッファB86から直接 出力インタフェースB81を介して出力装置B6へ転送 し、印字用紙後処理装置35で後処理が実行されると同 時にディスクB88に售ぎ込みを開始する。直接出力が 不可能であれば、ディス 7 B 8 8 への哲き込み開始のみ を行う。出力は、ページパッファB86からのみ行われ るが、ページバッファB 16への回像データ格拠は、画 **像説み取り装置B2からつ入力及びディスクB88から** の説み出しの2通りある、基本的な動作は、1部目は画 し、2部目以降はディスジB88から読み出した画像デ 各画業年に制御して網点により中間隔画像を再現するに 像信報を読み取り、デジャル画像データへの変換及び画 **段処理を施しながら、入りインタフェースB81を介し** 像説み取り装置B2からい入力画像データを直接出力 2

(0028) 画像税み取り整因82からの画像信頼人力に代わり、ファンショリごるいはネットワークに接続された外部機器からの画像付額の入力についても同様に動作する。ファクショリ・ンタフェース B8を介して イージパッファ B8 6 にも納され、同様に ネットワークインタフェース B8 3 たんしん 形成機器からの回じ入力の場合には、ネットワークインタフェース B8 3 たんしんががあれ、同様に動作する。

とにより像形成させる。

20

【0029】また、出力において、出力技限B6の代わ30 りにファクシミリあるいにネットワークに接続された外部機器の場合にも同様に、ページパッファB86からファクシミリインタフェーブB82、あるいはネットワークインタフェースB83へ出力される。

(0030)なお、ペーンパッファB86と各処理プロックとのアクセスは、インージバスのバスアーピトレーションによって同時に行えれる。また、ページバッファB86と各処理プロックに、時分割で処理を行い、入力処理と出力処理は並列に发 担される。

○五二二四万元元元元二二二二二二 (0031) 図4は、本外明に係わるジョブ助作指定数图 B7の概略図である。

40 四日 7 の策略図である。 (0032) 図4において、ジョブ動作指定装配B7 は、入力能である適到タッチパネルB7aとこの適明タ ッチパネルに対向した形状の投示能であるディスプレイ B7bとの一体構造からなるコントロールパネル語と、 コントロールパネル際の表示及び入力の制御を行う調明 部B7cから構成されている。

[0033] 前記透明タッチパネルB7aは、光学方式、透明电版(抵抗版)方式、静电容量方式、圧力センサ方式などの各種検出方式のうちいずれかの検出方式に

よって構成され、オペレータの指導による神圧力をキー

2

特間

(2)

- Harat

入力信号として均砂部B7cに送るようになつている。 【0034】前記ディスプレイBTbは、液品ディスプレイ (LCD)、プラスマディスプレイ (PDP)、現 光ダイコ・ドイスプレイ (ELD)、 的程記録投料型ディスプレイ (ECD)、CRTディスプレイ等により 新成されている。

【0035】図5は、本発明を適用したジョブ動作指定 塩四37のブロック図である。 [0036] 図5において、aは現在実行中及び受け付けられたジョブを全て投示し、この全てのジョブに対して操作を可能とするジョブ表示手段である。gは、ジョブ表示手段aで表示されたジョブを選択し、操作内容を入力するジョブ人力手段である。

(0037) B7abは、図4における適明タッチパネルB7aとディスプレイB7bとの・体報通からなるコントロールパネル間で、ジョブ投示平段aとジョブ入力す段gの他、複合機をで改表水及び操作を行う。全てのデョブは郊2配低のに配位され、ジョブ管理年段「に、よって管理される。更に、ジョブ管理年段「は、各ジョブの次行状態等を監視し、現在の各ジョブの以行状態を20ジョブ及示手段aに表示する。ジョブ入力手段gで選択されたジョブは、30郊1配位第6によって処理をは、この郊1配位第6によった処理を理解が行われ、決定した的容は可び郊2記位第6に各种される。

(0038) B7c1は、ジョブ助作指定装配B7の前記各手段を所定の動作に従い開卸し、オペレータによってコントロールパネル部B7abで設定された所望の処理をするから両線処理部B8へコマンド/ステータス30間を込むたり、確仮処理部B8からのコマンド/ステータ入信符を削弾するコントローラで、所定の動作をされるためのプログラムを記憶したメモリ、CPU(Central Processing Unit)等から

[0039] 図6は、本発明を適用した実施例のコントロールパネル階のジョブコンソール間U1である。このジョブコンソント間U1である。このジョブコンプント投示部U11 とジョブリスト投示部U11 ト投示部U11には、図6中に示したように、現在処理 40年の交通性的も状態になっているジョブ全でを表示する。図41に「11 (Image Input Terminal)→IOT (Image Output Terminal)→IOT (Image Ou

る場合は、「全ての」のもを選択」U12aの操作1回 現在受け付けられているジョブが一目瞭然であり、複数 の機能のジョブの状態が操作モード切換えの必要なく確 VIIのジョブリストのジョブを選択することにより選 択されたジョブリストが反転して、オペレータに選択さ れたことを知らせ、この選択したジョブに対してジョブ 操作部U12により「変更」U12b、「停止」U12 c、「再開」U12d、「破漿」U12eなどの操作を 行うことができる。また、全てのジョブに対して操作す し1回接コピージョブの1枚原稿で、出力待ち状態であ ることがわかる。L3及びL4に示すジョブは、それぞ れコピーとファクシミリの両方に出力する1枚原稿でし 認することができる。ジョブの処理を変更したい場合、 に示したジョブリストの例は、L2に示すJob2は、 2 同様出力待ち状態であることがわかる。このように、 で全てのジョブを選択することができる。 2

[0040]また、各ジョブの詳細数定を確認及び変更したい場合は、上記の要質で選択反応したジョブを再度選択するか、ジョブ操作部U12の「変更」U12bを選択することにより、図7に示す、ジョブ設定投示部U2において行うことができる。変更操作後、「設定終了」U21を選択することで当該ジョブの設定内容が変

更完了する。
[0041] 図8, 図9は、本発明に係わる制御のフローチャートである。以下、各々のフローにしたがって説明する。なお、以下の説明中の入力処理とは、画像説み取り装配B2、ファクシミリB3あるいはネットワークに接続された外部機器からの画像データをページパッファB8に格納してある画像データを、出力装置 B6、ファクシミリB3あるいはネットワークに接続された地に地にデジネスの間のデーンを、出力装置 B6、ファクシミリB3あるいはネットワークに接続された地に地にデジネスの間のデーンかネ

れた外部機器に転送する処理のことである。 [0042]以下、図8に示す入力フローについて説明 [0043] 入力ステップ1:入力画像データを格納する質成をページバッファ内に確保可能かどうかを調べ、可能ならば、入力ステップ2に進み質域確保を行う。質域確保ができない場合は、ページバッファ内の画像データが出力中かもしくはハードディスクへの転送来完了の本めであり、それらの処理が終了するまで特たされる(特徴状態に移行)。(511)

、ハステップと: 入力画後データを格納するため、領域をページパッファ内に確保する。(S12) 入力ステップ3: 入力処理を起動する。(S13) 入力ステップ4: 入力処理を起動する。(S13) 入力ステップ4: 入力と同時に出力が可能かを調べ、可能であれば入力ステップ5に進み、出力処理を行う。不可能であれば入力ステップ5に進む。(S14)

入力ステップ5:出力処理を起動する。(SI5) 入力ステップ6:入力処理の終了後、入力画像データを ハードディスクへむき込む処理を起動する。むき込み処

> ボが点徴することによりオペレータに知らせる。 U11 50

りをおおん プレングラング

理終了後、待機状態のジョブがあれば、それを起動し入カステップ1から処理を再開する。(S16) スカステップ1、この入力画像データが段終のものであるかを降べ、及終のものでななければ、次の入力画像データについて入力ステップ1から繰り返す。 最終の入力画像データについて入力ステップ1から繰り返す。 最終の入力画像データであれば次に出力フローに移行する。(S1

7) 次に、図9に示す出カフローについて説明する。 [0044] 出カステップ]: まず出か製造が出力可能

[0044] 出力ステップ1:まず出力装置が出力可能であるかのチェックを行なう。出力が不可能の場合、他 10のジョブの出力処理が行われているか、もしくはエラー状態であり、特徴状態になる。(SO1)出力ステップ2:ハードディスクから所定の画像データを順次ページパッファに読み出す。(SO2)

を節次ページパッファに読み出す。 (SO2) 出カステップ3:出力処理を起動する。 (SO3) 出カステップ4:出カステップ2、3の処理を繰り返し、完了していれば、特徴状態のジョブの処理を再明する。 (SO4)

出カステップ S: ページパッファとディスク内の画像デーカタを指法する。(SO5) 出カステップ G: ジョブ終了処理を行い終了する。(S 出カステップ G: ジョブ終了処理を行い終了する。(S

20

06) 図10は、本発明を適用した災路例のジョブの詳細設定 の確認/変更する場合のコントロールパネル部の操作、 投示を説明するフローチャートである。まず、オペレー がは、ジョブリストU11より現在処理中放び処理符ち 状態のジョブを知ることができる。Job2L2の処理 収集のジョンを知ることができる。Job2L2の処理 変更、設定変更及び確認を行う場合、ジョブリストU1 1のJob2L2が投示されている箇所をタッチして、

Job 2 L 2 を反転投示状態にする (SU11)。 これ 作部U12中の「変更」を選択するか、反転しているジ ョブリストU11のJob2L2を再度選択することに により、このJob2に関する処理及び数定についての 操作が可能となる。処理を変更する場合は、この状態で 2)、「再開」U12d (SU13)、「破棄」U12 e (SU14)のいずれかを選択することにより操作で きる。ただし、「停止」U12cを選択し、「再開」U 12 dするまでに行う処理については省略する (SU1 3)、 設定内容の確認及び変更を行う場合は、ジョブ操 よりジョブ散定表示部U2を表示 (SU15) して散定 変更することができる(SU16)。 設定内容の確認及 **が設定変更が終了したらジョブ設定扱示部U2内の数定** 終了し21を選択することにより、ジョブの設定内容及 ジョブ操作部U12中の「停止」U12c (SU1 ひ然了する (SU17)。

[0045]なお、ここでは、災行符ち状態のジョブの 処理変更の説明にとどまっているが、本籍明の操作/致 示形態によれば、題状したジョブを停止/再開し、同様 の操作をすることにより実行中でもジョブの処理変更が

特閒平7-303163

2

[0046]

9

(発明の効果)以上の説明から明らかなように、本発明によれば全ての操作をジョブ単位で行うため、操作モードを切り換えることなくまてのジョブの状態の設定内容の確認及び変更ができる。従って、オペレータの操作の担を経済することができらという効果を没する。

【図1】 本発明が適用::れる複合機のシステム構成を示す機略図である。

【図2】 本発明が適用にれる複合機の概略構成を示す

断面図である。 【図3】 本発明に係わむ、画像処理技図の一英施例を ユナニューナー コンコー・ロップ・

示すハードウェアブロッジ図である。 【図4】 本発明に係わいジョブ動作指定装置の概略図である。 【図5】 本発明が適用される複合機のジョブ動作指定 装配のブロック図である。

【図6】 本発明を適用した画像処理装置の実施例のコントロールパネルのジョ: コンソール部である。

[図7] 図6に示すコントロールパネルのジョブコンンール的の詳細を示す図1.ある。

【図8】 本発明に係わる・画像処理装置の入力部の制御を示すフローチャートでかる。

【図9】 本発明に係わる 画像処理装置の出力部の制御を示すフローチャートである。

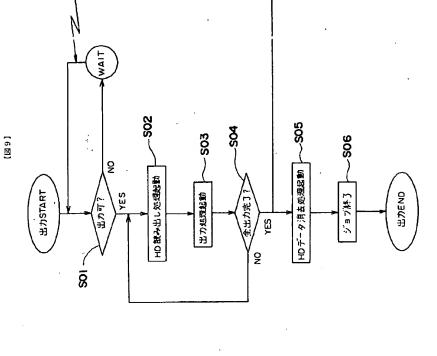
でホッノコーノエードでです。 【図10】 本発明を適用した実施例のジョブの詳細設定の確認/変更する場合のコントロールパネル部の模

 30 M1:複写装配、M2:信 助原投送り装配、M3:後始 理装配、M4:ブラテンナラス、M5:画像路み取り装 配、M6:画像形成装配、M7:結構装配、M7 a ~ 7 c:トレイ、M8:原放料、M2 m / 1 m / 2 m / 2 m / 2 m / 2 m / 2 m / 2 m / 3 m / 2 m / 2 m / 3 m / 3 m / 2 m / 2 m / 3

40 配、M23:クリーニング複路、M24: 到電投 の M2 M25:コンペア、M26:近郊城路、M27:00 り後えゲート、M28:反応坡路、M29:9り後えゲート、M30:反応坡路、M31:9り後えゲート、M35:近路トレイ、M33:近底地ベルト、M34:0り後えゲート、M35:ソータビン、M34:0り後えゲート、M35:ソータビン、M36:区がトレイ、M37:ステイブラ、M38:外部入川が窓路、M39:操作指示な路、M40:圖像圧筋/伸及器、M39:操作指示な路、M40:圖像圧筋/伸及器、11~517:入力館の返阻ステップ、SOI~SO

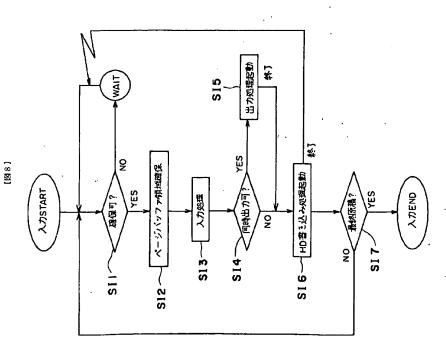
20

ブ動作指定装置の入力操作ステップ



特開平7-303163

6)



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.